

JIS A 5548 タイプI F★★★★

JAIA 4VOC基準適合

# 大形タイル・石材用接着剤 マルチEP

2液混合形

湿潤面硬化形

マルチEPは内装の壁や床に大形タイルや石材（600角／厚み20mm以下）を施工するのに適しています。下地が湿っていても施工できる湿潤面硬化形のエポキシ樹脂系接着剤です。



エポキシ樹脂系接着剤

化学反応形無溶剤タイプ

指定可燃物可燃性固体類

容 量		包装形態		梱包単位
20kgセット	主 剤	10kg	缶	1セット
	硬化剤	10kg	缶	

### 用 途

適 用 箇 所	屋内の壁面及び床面（床暖房対応）
適 用 下 地	モルタル、PC板、合板、ボード類
適 用 仕 上 げ 材	・セラミックタイル （陶磁器質タイル） ・石材（600角／厚さ20mm以下）

### 標準使用量

2~3kg/m <sup>2</sup>	7~10m <sup>2</sup> /20kgセット
----------------------	-----------------------------

### 性 質

	主 剤 (A剤)	硬化剤 (B剤)
外 観	白色 パテ状	灰色 パテ状
主 成 分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン
混 合 比	主剤(A剤)：硬化剤(B剤) = 1：1	
張付け可能時間	30分以内／23℃	
可 使 時 間	40分以内／23℃	

### 使用方法

#### 【下地の確認】

- モルタル下地の場合  
下地は平坦・平滑に仕上げ、施工後2週間（冬期は4週間）以上養生し、よく乾燥していることを確認します。
- 壁面のボード類下地の場合  
タワミのない厚手の合板など表面強度の高いボードを使用し、目違いや目地あきのない下地とします。

#### 【下地の調整及び清掃】

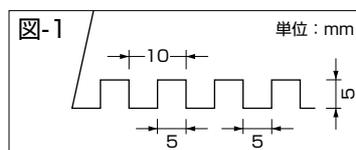
- 1.モルタル下地に凸部がある場合は、サンダー掛けやケレン処理により平滑にします。また、凹部がある場合は、下地補修材で平滑にします。
  - 2.モルタル下地のもろい部分やレイタンスは必ず取り除いてから下地補修材で平滑に仕上げます。
  - 3.下地面及び被着体のゴミ・ホコリ・油分・錆・塗料などは接着不良の原因となりますので取り除きます。
- チェック：・若齢下地への施工は石材汚染が起こりやすいので避けて下さい。  
・塗装面、ガラス面、浴槽内、常時60℃以上になる所には使用できません。  
・下地に浮き水がある場合は拭き取ります。

#### 【接着剤の取り出し及び混合】

- 1.接着剤の主剤(A剤)と硬化剤(B剤)を1対1の割合(重量比)になるように別々のヘラで容器に取り出します。
  - 2.取り出した接着剤をよく練り混ぜます。
- チェック：・主剤(A剤)と硬化剤(B剤)がよく混合されていないと接着不良や石材汚染の原因となりますので注意して下さい。  
・一度に練り混ぜる量は、可使時間内に使い切れる量にして下さい。  
・一度練り混ぜた接着剤は保管できません。  
・接着剤を加温したり溶剤などを加えないで下さい。

#### 【接着剤の塗布】

- クシ目立てによる接着張りの場合
- 1.接着剤を左官ゴテを用いて下地に押し付けるようにして均一に塗布します。
  - 2.規定のクシ目ゴテを使用して、塗り溜りができないようにクシ目を立てます。(図-1参照)
- ※床面・壁面ともに推奨する工法です。



## ●点付けによる接着張りの場合

ヘラなどを使用して、直径約50mm、高さ約20mm位のダンゴ状にした接着剤を約200mm間隔で仕上げ材の裏面へ点付けします。(図-2参照)

※この工法は、壁面のみを推奨します。

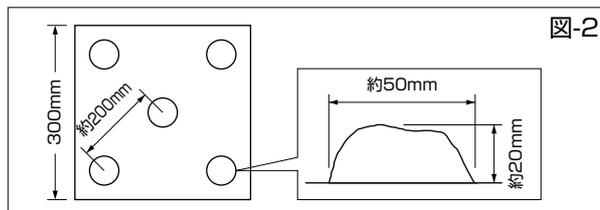


図-2

## 【仕上げ材の張り付け】

1.接着剤塗布後すぐに仕上げ材を張り始め、張付け可能時間内に張り終えます。

チェック：張付け可能時間は環境により異なります。

2.仕上げ材は揉み込むようにして張り、裏面全体に接着剤がなじむようにビブラートなどで充分に圧着します。

3.仕上げ材を適宜剥がし、仕上げ材裏面に接着剤が充分付着している事を確認します。

チェック：・仕上げ材表面に付着した接着剤は硬化する前に拭き取って下さい。

・目地直しは、接着剤が硬化する前（張り付け後約30分以内）に行ってください。

## 【養生】

施工完了後、接着剤を硬化させるために1日以上外力が加わらないように養生します。

## 【目地詰め】

1.目地用ゴムゴテを用いて、目地部にCG-411(壁用)が完全に充てんされるように塗り込みます。

※床の場合はCG-512をご使用下さい。

床暖房設備なし：セメント系目地材(CG-512)

床暖房設備有り：エポキシ系目地材(TAGラウトEP)

ポリマーセメント系目地材(フレックス目地)

チェック：伸縮目地部や設備機器との取り合い部にはシーリング材を充てんしますので、セメント系目地材を塗り込まないで下さい。

2.仕上げ材表面に残った目地材はゴムゴテを用いて拭き取った後、湿したスポンジで拭き取ります。

3.目地材が乾燥した後、乾いた布で拭き取り、仕上げます。(施工当日に拭き取って下さい)

## 【端部の処理】

伸縮目地部や設備機器との取り合い部にシーリング材を設けます。

チェック：・シーリング材の充てんにより、石材へのシミ出しの恐れが考えられる場合は、シーリング材用プライマーを使用して下さい。

・シーリング材が硬化するまでは、ホコリやゴミなどが付着しないようにして下さい。

## 取り扱い上の注意事項

マルチEPを取り扱う時は、下記の項目を守って下さい。

- 接着用途以外には絶対に使用しないで下さい。
- 塗装面・ガラス面・浴槽内・常時60℃以上となる所には使用できません。
- 品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないで下さい。
- 一度練り混ぜた接着剤は保管できません。(混合物は容器にもどさないで下さい。)
- 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。
- 取り扱い場所及び作業箇所は、換気を行って下さい。(施工中は窓を開け、施工後も日中は4～5日間、常に窓を開ける)
- 可燃性があります。使用時・取り扱い場所では火気に注意して下さい。
- 保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従って下さい。
- 接着剤は皮フに触れたり蒸気を吸入すると健康障害や皮フ障害(カブレ)などを起すことがあります。使用時は保護具を着用して下さい。
- 使用時には必要に応じて保護眼鏡、保護手袋などの保護具を着用して下さい。
- 開缶した接着剤は、できるだけ早く使い切ってください。
- 直射日光を避け、湿気の少ない5～35℃の屋内で貯蔵・保管して下さい。(凍結が起こらないように、気温の変化に注意して下さい)
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、必ず手洗いやウガイをして下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気の良い場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は、速やかに洗い落として下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ廃棄したり、流入させないで下さい。
- ご不明な点は当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
- マルチEPをご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

## ■警告及び注意



●掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。

●本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされませうお薦めします。

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区宿跡町1-58 TEL: 052-412-5300 FAX: 052-412-8900

東京支店 TEL: 03-3616-2201  
FAX: 03-3616-3711

名古屋支店 TEL: 052-411-3511  
FAX: 052-411-3516

仙台営業所 TEL: 022-262-5751  
FAX: 022-262-5753

広島営業所 TEL: 082-231-1200  
FAX: 082-231-7666

北陸出張所 TEL: 076-237-7480  
FAX: 076-237-6478

大垣工場 TEL: 0584-89-2225  
FAX: 0584-89-2090

大阪支店 TEL: 06-6386-6141  
FAX: 06-6386-2251

札幌営業所 TEL: 011-717-5216  
FAX: 011-717-5217

横浜営業所 TEL: 045-242-7441  
FAX: 045-242-8136

福岡営業所 TEL: 092-451-6503  
FAX: 092-481-0621

技術開発 TEL: 0584-89-8111  
センター FAX: 0584-87-0010

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業

◆株式会社イズカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, LTD.

1703Mac02